

第 65 回 関東地区高等学校 PTA 連合会大会

令和元年 7 月 13 日 (土)

会場：大宮ソニックシティ

第 1 分科会 学校教育と PTA

『 参加したくなる PTA をめざして 』

神奈川県立山北高等学校 前 PTA 会長 瀬戸 忍 氏

学校紹介

山北高校は昭和 17 年山北町立山北実科高等女学校として開校、昭和 25 年に神奈川県立山北高等学校に改称され、共学である現在の姿を整えた 77 年の歴史を持つ伝統校。長い歴史の中では、夢枕獏さんが卒業生として今も活躍されている。スポーツ面では、磯崎公美さんを輩出し、アジア大会では 4 つの金メダルと日本新記録を打ち立てたそうです。現在は野球部が県大会ベスト 16 入り、男子バレー部ソフトテニスの関東大会出場に加え、弓道部は関東大会優勝や、全国大会の常連校としてその名を轟かせ、その精神は、現在「スポーツ系」の設置により在校生に引き継がれているそうです。

注目の取組み

PTA 組織

- ・本部役員 11 名 ※教員含む
(会長、副会長、書記、会計)
- ・専門委員会 45 名
(成人、広報、ふれあい)
- ・学年委員会 各学年 4 名

☆案内誌

保護者に配布物が届かない。
どこの高校でもある悩みだと思います。生徒たちの笑顔と保護者の皆さんの活動を沢山の方に知ってもらいたい思いで広報誌を作成しても、保護者に届かない。そんな時ひらめいた、「委員会の活動内容が分からない」との声に答えて、文章だけでは伝えにくい各委員会の

の生き生きとした活動内容が伝わる様にと、案内誌が生まれたそうです。

☆防災への取組み

ここ数年、日本各地で起こる災害。山北町は活断層が通る土地。子どもが通う学校が被災し避難所になる可能性も否定できません。日々忙しい先生方に頼るだけでなく、いつ災害が起こっても子ども達が困らないように保護者の目線で見直しが必要と考えたそうです。

① 防災班結成

防災班を結成し、学校の建物内防災備蓄・建物外防災倉庫の点検

防災備蓄倉庫内の選別、不要物撤去。不足分や必要な品目を洗い出し、購入する。ヘルメット等更新が必要な物も順次購入。

② 山北町との地域連携

山北町・学校・PTA との三者会議を実施。会議の中で見えた問題点が多々あり、広域避難所としての準備が必要と分かり、今後も町と学校と連携して協議していくことが必要と感じたそうです。



《感想》

前会長の瀬戸さんをはじめ本部・専門委員の役員さんの明るく楽しい発表では、山北高校 PTA 役員さんの仲の良さが際立ちました。活動内容の中には、南陵高等学校では、救命法講習会、大学訪問。山北高等学校さんでは、骨密度測定、社会科見学。

学校毎に活動内容が違い刺激を受けました。

1 番驚いたのが、PTA 役員にしか分からない活動内容を PTA 案内誌として発行している事です。役員選出の前に目を通していけばスムーズな選出につながると思います。

実際、山北高等学校では次年度より合格時の配布文書に案内誌を同封するそうです。

南陵高等学校でも取り入れを検討する価値ありだと感じました。

高草木 敦子

《感想》

前 PTA 会長さんをはじめ専門部の皆さんと協力して発表が始まり、まず思った事は、「元気で楽しそう！明るい！」と感じました。

そして発表は各専門部の皆さんが、各部でどんな活動をしているかお話をしてくれました。そのおかげか説得力がありとても分かりやすかったです。

取り上げられていた防災。PTA が学校では手が回らない所を指摘していてとても良い事だと思いました。毛布を圧縮加工していて衛生的だと思いました。南稜高校ではどうなっているのかと気になりました。

山北高校では、電車の時間が 1 時間に 1 本という大変な中でも校長先生や先生方々とも仲良く学校との連携している姿は素晴らしいと感じました。もっとお話を聞いていたくらい引き付けられ、そんな学校に私達も出来たらな。と励まされた発表でした。

役員になったばかりで右も左もわかりません。

まず、自分の学校がどうなっているのか知るべきだと勉強になりました。

加藤 紀子